

鈴木ひとし

千葉県議会議員候補

習志野市選挙区

立憲民主党公認 連合千葉推薦



県政三つの重点課題

- ① 「低福祉ちば」からの脱却、高齢化に対応した地域医療・福祉体制の確立
 - ・全国で2番目のスピードですすむ千葉県民の高齢化に対応し、住み慣れた地域で安心して暮らせる医療・福祉体制作りを最優先します。
 - ・全国45位と最低水準の医師数、看護師数を増強し在宅医療・在宅介護体制を確立します。
 - ・社会福祉費全国46位・老人福祉費47位という、歪んだ福祉を行政資源の集中投入で立て直しします。
- ② 「未来をつくる教育」人への投資を最優先
 - ・安倍政権の大企業・富裕層優先で疲弊する県民の暮らしを守り、地域経済の復興を実現します。
 - ・子供の貧困・虐待防止緊急対策、家庭環境による教育格差を是正して公教育の充実を推進し、未来を支える子ども達を育てて行きます。
 - ・待機児童対策、子育て世代の女性の多くが働いている地域の中小企業の多様な雇用形態を支援するなど、子育て環境の支援に全力を挙げます。
- ③ 「開かれた県政へ」議会改革、行政改革を推進
 - ・自民党の反対により実現しなかった政務活動費のインターネット公開や、一問一答式の導入、議員の採決行動の公開など、情報公開と議会改革を進めます。
 - ・県職員の天下り、県税徴収率ワースト1位、増大する県債残高等を是正し、県有施設・インフラの老朽化対応など行政改革を実行します。
 - ・不要な再開発や、新規の高規格幹線道路の新設など開発主導の県政を見直し、公平な再分配による経済発展を実現します。

声なき声を聴き、よりそう政治



<https://www.h-szk.com> ameblo.jp/hit-suzuki twitter.com/hitopittchan facebook.com/hitoshi.suzuki.7311

立憲民主党

#ボトムアップデモクラシー宣言 われわれ立憲民主党自治体議員はここに宣言します。

- フェアで活力ある雇用や福祉を作り出すことで、格差の拡大や少子高齢化の課題に、地域から挑戦します。
- 女性や若者、子供たち、非正規労働者、障がい者、セクシュアル・マイノリティ。多様な当事者の声を、ダイレクトに政治反映します。
- 地域の特性を踏まえた地産地消のエネルギーを推進し、持続可能な地域の未来づくりを目指します。
- 情報公開と議会改革を進め、オープンで活力ある住民自治を創り出します。

多様性を誇りに。分かち合いを力に。支え合いを安心に。新しい日本の第一歩は、あなたのまちから始まります。

●**地域の声からかけ離れた政治** 安倍政権による、公文書の隠蔽、改ざんなどで、行政への信頼性は大きく損なわれてしまいました。一方で民意をかえりみない、時の政権による上から押しつけの恣意的な支配が、地方政治にも蔓延しています。そのような中で行われる、このたびの統一地方選挙は戦後74年間守られてきた、自由・平等・法の支配といった価値観と、議会制民主主義の存亡がかかる重要な選挙です。

●**政治の原点** 私は東京五輪の年1964年に、父、鈴木専蔵、母、喜美子（旧姓三橋）の二男として津田沼で生まれました。祖父、三橋光は第二次大戦中に津田沼町収入役を、父も昭和62年から習志野市助役を務め、行政の立場で街に尽くした家族に生まれ、私には「街のため、人のために役立ちたい」という思いが植え付けられたのです。大学を卒業後サラリーマンを経て、住宅管理会社を起業すると、格差拡大で国民の暮らしが厳しくなった事を目の当たりにしました。先進国の中でアメリカに次ぐ貧困率、若者が結婚し子育てすることを躊躇うような、先の見えない不安に覆われた今の日本。そんな社会を、小さな力かもしれないけど変えていきたい、それが私の政治の原点なのです。

●苦闘する行政の現場

千葉県議会議員としての4年間、進めぬ地域の介護・医療体制づくり、子供の貧困と教育格差問題、我が子を虐待して死に至らしめる親たち……

絆と規範を失った社会の現実と対峙してきました。そんな行政の現場で、再び思ったことは「政治は強い者のためにあるのではない」という事です。政治の原点は、助けを求め人を見たら、見て見ぬふりをしないこと。「声なき声を聴き、よりそう」ことで、不安を希望に変える事ができるよう、誰もが希望を持てる千葉県を築けるよう、私の力のすべてを尽くす決意です。



街頭で訴える



予算委員会で執行部に質問

【プロフィール】

1964年（昭和39年）2月23日 津田沼生まれ 辰年 B型 魚座 菊田保育所／津田沼小学校／習志野第一中学校 県立八千代高校／日本大学経済学部卒 三菱地所リアルエステートサービス（株）を経て、起業し住宅管理会社代表

2015年より千葉県議会議員 県議会での職務：商工労働企業常任委員 都市計画審議会委員 立憲民主党千葉県連総務委員長

資格：宅地建物取引士、マンション管理士、二級建築士、被災建物応急危険度判定士、JAF国内A級ライセンス

家族：妻、元野良のオス猫 趣味：歴史探訪の旅、読書、ワイン

「信念と情熱の政策提言」当選1期議員中、ダントツの政策提言力

鈴木ひとしが、4年間で提言した数多くの政策提言が実現しています。(報道対象となったものは★)



芸術文化振興条例制定委員として

文化・芸術振興条例を立案

- ・千葉県芸術文化振興条例制定委員として議員発議に参画し、条例が制定されました。★

中小企業を中心とした経済政策を提言

- ・中小企業の後継者不足、廃業対策の相談事業が始まりました。
- ・県独自の観光施設でのおもてなし認証制度が制定されました。
- ・中小・小規模企業での外国人客対応研修が強化されました。

公教育の充実と子育て支援を強化

- ・子供のいじめの実態調査と対策が強化されました★
- ・不登校児童、生徒対策が強化されました。
- ・子供の貧困実態調査が始まりました。
- ・ミドルクラス教員の指導力向上の研修制度が強化されました。
- ・生活困窮世帯の教育支援事業が拡大されました。
- ・認可外保育施設の保育基準が厳格化されています。
- ・スクールカウンセラーの増員が実現しました。
- ・就学前児童への交通安全教育が試験導入されています。★

耐震改修の義務化による防災対策強化を実現

- ・緊急輸送道路沿道建築物の耐震改修が義務化されました。★
- ・木造住宅の耐震化促進予算が拡大しました。
- ・千葉県地震被害想定、推計方法が変更されました。
- ・障害者、外国人などに対応した避難者カード様式が採用されました。



本会議場の自席にて



市川市の赤レンガ倉庫で文化財の調査

医療資源の充実を実現

- ・地域在宅医療体制の支援、訪問看護ステーションの整備により、在宅医療の充実を図ることが出来ました。
- ・済生会習志野病院の災害拠点病院指定が実現しました。
- ・介護現場への新規就業の促進や潜在有資格者の再就職支援、キャリアアップ支援などを行うための予算を確保し介護人材の確保を進めました。
- ・高齢者の居住安定政策が強化されました。
- ・外国人との多文化共生担当部署が県に設置されました。★
- ・地域猫対策・動物愛護政策により、殺処分の減少を実現しました。

インフラの老朽化対策を強化・行政改革推進

- ・県有施設長寿命化計画で、建物の計画保全を行うこととなりました。
- ・県有施設（公の施設）の廃止基準、売却等の手順が明確化されました。
- ・県職員の総実働勤務時間の管理厳格化、サービス残業の抑制が強化されました。
- ・官製談合の再発防止を図るために条例を制定しました。★
- ・幕張メッセの屋根サビ問題解明の検証委員会が設置されました。★



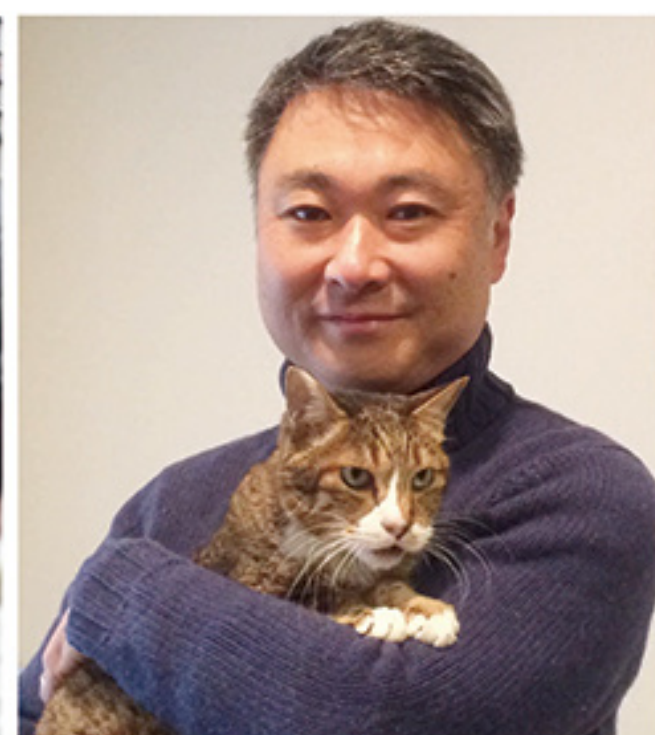
野田前総理との街頭演説会



三山の七年祭りで



地域の方からご意見をお聞きする



元野良のオス猫と

鈴木ひとし選挙事務所

〒275-0016 習志野市津田沼 4-1-25 TEL/FAX:047-481-8881

